

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス よよぎ				公表日	年 月 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	小学生と中高生で部屋を分けています。	今後も部屋や活動スペースを工夫しながら支援します。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1	担当制にしたり、基準以上配置にしたりして少人数で対応できるようにしています。	1対1の個別対応が難しい日がありますが、今後も可能な限り少人数対応を心掛けます。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	階段、トイレは手すりが設置されています	建築上難しいことでなければ、必要に応じて設置していきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	毎日掃除、アルコール消毒を行なっており、空気清浄機も常に使用しています。また、遊びの空間と机上活動の空間を分けています。	静かな時は、鳩の鳴き声や天井の小動物の足音が気になります。定期的に点検を行い、必要に応じて駆除していきます。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	どの部屋も行き来可能となっています。	今後も個別に対応できる部屋の確保に努めます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	0	支援内容に関しては、利用者一人ひとりに個別の月目標を定めており、月末には振り返りを行っています。	今後もPDCAサイクルに広く参画していきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	毎年アンケート実施後に職員で集計結果を基にした会議を行い改善すべき点を明確	今後も課題や改善事項に対しては真摯に受け止め、より良い支援に努めます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	朝礼の中で、情報共有等、意見する機会を設け、職員間で改善に努めています。	職員間で統一した療育や支援、業務内容を把握していきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	2	虐待防止委員会等での第三者委員の選出は行っているが外部評価を実施したことは	必要に応じて行なっています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	講習会や子ども部会に参加し意見交換等を行っている。内部研修、外部研修ともに年間スケジュールで計画し、職員が受講	引き続き行なっています。	
支援体制	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	法人で統一したプログラム作成を行っており、ホームページで公表しております。	見直し等行なながら適切な支援プログラムの公表を行ないます。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	半年に1回アセスメント等を行い、子どもと保護者のニーズや課題を分析した計画書の作成に努めています。	環境の変化など、必要に応じてアセスメントを行い、ニーズや課題にずれがないか調整していきます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	計画書では、まず「案」を立て、職員間で検討会議を行い、様々な視点で最善の利	引き続き共通理解の下で支援を行なっています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	短期目標、長期目標を立てた後は、担当指導員がそれをもとに月目標を設定し、こど	こども達自身も目標に向かって過ごせるように支援していきます。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	支援経過記録をつけ、定期的なモニタリングを行う中でフォーマル、インフォーマルなアセスメントを使用しています。	標準化されたツールの活用を適切に行なながら、アセスメントを使用するための確認を行なっています。	

適切な支援の提供	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	計画書に記載し、保護者面談の時にご説明させていただいております。特に進学、就職への移行時には、より個別に対応できるように設定しています。	わかりやすい書き方や説明、具体的な支援内容が設定できるように努めます。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	月の行事の中では主担当を決めたうえで、他職員と協力し、その日の利用児童に合わせて内容等の調整や準備を行ってい	日々のプログラムでは、利用人数によって変更が生じやすいので、できる限り変更なくスムーズに支援できるようにしま
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	季節のイベントや、クッキング、工作、集団活動など様々な活動プログラムを準備している。長期休みには利用曜日によって偏りが出ないよう調整し、様々な経験ができるよう配慮しています。	季節の行事や地域のイベント、さまざまな社会的交流を意識した取り組みを行っていきたいです。
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	子ども達のその日の様子に応じて、個別活動や集団活動の内容を変更できるよう工夫し、柔軟な対応ができるよう準備している計画書には集団活動、個別の活動をそれぞれに課題を設けて計画して	平日は特に子どもの体調など注意深く見守り、疲れなどに配慮した活動を行っていきます。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	朝礼時に活動内容やタイムスケジュールの確認を行っています。担当から個別の課題についての確認、スケジュール等の確認を行い、ホワイトボードに記入し、午	今後もチームで連携して支援していきます。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	送迎終了後に全職員でまとまった時間の確保が難しいこともあるが、支援経過を記録する際に職員間で情報共有や、活動の振り返りを行っています。翌日の朝礼時に改めて振り返りを行い、当日の支援に生かせるよう努めています。	支援終了後に難しいので、翌朝の朝礼や記録を通して情報共有を行っていきます。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	支援終了後に、支援経過を記録しています。担当した指導員の情報と他職員の情報を確認して記録しています。また朝礼時に記録等を共有し、改善すべき点等につい	記録の取り方を工夫し、適切な支援が行われているかを話し合えるようにします。
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	毎月モニタリングを行っています。半年分のモニタリングを基にサービス計画の見直しを行い、支援目標、内容変更の必要性について判断をしています。	今後も努めています。
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	8	0	集団活動では、工作、クッキング、運動、コミュニケーション活動、戸外活動や、地域イベントへの参加等さまざまな経験を提供できるよう組み合わせています	今後も①自立支援と日常生活の充実のための活動②創作活動③地域交流の機会の提供④余暇の提供を意識した支援に努めます。
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	選択できるような環境を整え、自己決定できるように努めています。また自己決定に対する責任についても助言しています。	今後も選択できることを増やし、自己決定できるよう支援していきます。
連携による支援の実現	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	当施設の児童発達支援管理責任者、担当指導員が同席可能であれば参画しています。また他事業所も参加しての会議等では場所の提供等も行っています。	今後も機会を逃さないように会議に参加していきます。
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	学校での面談、保育所等への見学や訪問、他事業所との情報共有と、障害福祉センター等での療育内容の共有等を図りながら、相談支援専門員と協力して支援の連	必要に応じて行っています。
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	保護者、または学校から年間計画、週のお知らせ等配布物をいただき、下校時刻や行事の把握に努めている。またメール等でも確認を行い、必要に応じて電話での確認や、来所の報告等も行っています	漏れがないように、口頭ではなく文書などで確認できるように努めます。

関係機関や保護者との連携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	書面での確認など、適切に情報共有できています。 これまでコロナ渦であったこともあり、訪問しての情報共有を行ったことはないが、今後は実際に園を訪問しての相互理解に努めることも検討します。	必要に応じて行っています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	1	いつも提供できるよう準備を整えているが、現段階では情報提供の依頼に結びつくケースはありません。見学には行ったが、情報提供は求められていません。	必要に応じて行っています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	1	地域従事者の実習等にも参加しています。利用者の特性に応じた支援内容についても助言を求めるように努めています。専門機関での療育を受けている利用の方においては、情報共有や施設での取り組み方についてお尋ねするようにしています。	必要に応じて行っています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	2	つながりが少ないので現状ではあるが、積極的に機会を設けていきたいと考えています。	長期休みや地域の公共施設を利用しながら活動できるようにします。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	7	1	協議会に参加させていただいている、子ども部会においても交流会等にも参加し、連携を図る機会をいただいている。また他事業所との情報共有の場がある連絡ツールにも参加しています。	今後も機会を逃さないよう積極的に参加していきます。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	送迎時の保護者お迎えの際には、お子さんの様子を伝えるように努めています。電話やofficialLINE等も使用して、相互にお子さんに関する情報を共有しながら支援を行うよう努めています。	今後も共通理解をもって支援していきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2	親子イベントの開催を執り行っています。家庭でも取り組める内容を紹介するなど、親子でのふれあいの機会となるよう設定しています。また個別相談も受けしており、その都度必要な情報を提供できる	今後も様々な情報提供等行っています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	契約時に書面と一緒に確認してもらいうながら、説明を行うようにしています。支援の内容や、支援経過については毎月書面にて各家庭に配布し、隨時質問等を受け付けています。	今後も丁寧な説明に努めます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	利用時に子どものニーズの聞き取りや、相談支援専門員を通じて保護者のニーズの聞き取り、家族のニーズの把握のため面談の時間を調整し、子どもや家族の意向を確認する機会を設けています。	今後も面談時に必ず意向を確認していきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	必ず面談を行い、同意を得ています。	今後も努めます。
保護者へ	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	保護者から相談の依頼があれば適切に応対しています。必要に応じて担当者会議等の開催を行い、支援の方法について検討、その他に受けられる支援サービスについても紹介しています。	今後もご家族に寄り添った助言や支援ができるように努めます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	2	現在は機会を設けていません。	今後親子イベント等において任意ではあるが保護者の方同士で話すことができる場を提供できるよう検討したいです。

の説明等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	苦情窓口を設置し、速やかに事実確認、原因究明等の対応ができるよう整備しています。また各公共機関等の連携を図り再発防止に関する対策等も記録として残し、子どもや保護者への周知も速やかに行えるようにしています。	今後も努めます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	officialLINEを活用して月行事予定等を配信しているInstagramでは非公開形式で活動内容の様子を写真や動画をコメントを添えて掲載しています。	今後も工夫しながら発信していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	契約時に個人情報に関する同意書や、インスタグラム、HPの掲載に伴う確認書を作成し同意を得ています。紛失、流失を防ぐためのルールを職員間で取り決めています。	今後も努めます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	なるべく口頭での連絡等ではなく、文面やLINE等で確認を行い、記録として残せるように配慮し、双方に確認しやすい環境作りに努めています。また重要な事柄については対面や電話で再確認を行って	今後も努めます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2	これまでコロナ禍であったこともあり、実際に行ったケースはないです。	今後イベント等を検討していきたいです。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	各種マニュアルの作成、改定を行い、法人単位での研修・訓練等を行っています。またマニュアルをホームページにも掲載している。職員でマニュアルを再度確認し、いつでも動けるよう心掛けたいで	定期的に周知し、これまで同様、訓練を実施していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	火災、風水害、地震、不審者に対する防犯・防災避難訓練等を定期的に行っています。中央消防署へも年に一度訪問し、消火訓練等にも参加しています。	今後も定期的に訓練を実施していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0	受診した際にはご連絡いただけるように周知しているが、未確認のこともあります。	再度、周知し連絡いただけるようにしたり、フェイスシート等で定期的に確認していきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	医師の診断書の取得が必要な児童のケースはこれまでないが、食物アレルギーに関する情報は、事業所内に二か所表記し、クッキング等では十分に留意しています。	今後も必要に応じて行います。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	安全計画を作成し、月に一度の点検、整備、防災訓練や研修等への参加をおこなっています。送迎マニュアルや事故防止マニュアル、緊急事態等マニュアル等の整備、見直しを年に一度おこなうよう計画しています。	今後も必要に応じて行います。
虐待等の対応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	安全計画の内容や実地内容に関する周知については今後HPやInstagram、会報等による発信を検討しています。	今後も必要に応じて行います。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	ヒヤリハットがあった際には、書類を作成後、閲覧した職員の名前を確認し、児発管と管理者が職員間で共有できることを確認しています。	引き続き行います。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	年に2回の法人内研修に参加しており、虐待防止委員会の活動も随時行っています。これまで外部の研修会等にも参加し、事業所内での共有等も行っています。また職員のストレスチェックや、心身の体調等の確認にも努めています。	引き続き行います。

	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	基本的には身体拘束をおこなわないことを前提として説明をおこない、どのような場面においてどのような拘束が必要になるのか、実施する場合の手順についても説明をおこない、個別支援計画書にも記載して了解を得ています。	今後も必要に応じて行います。
--	----	--	---	---	---	----------------